

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 6 月 21 日 (2007.6.21)

【公開番号】特開 2002-237865 (P2002-237865A)
 【公開日】平成 14 年 8 月 23 日 (2002.8.23)
 【出願番号】特願 2001-381782 (P2001-381782)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 29/08 (2006.01)

H 0 4 L 1/16 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 13/00 3 0 7 Z

H 0 4 L 1/16

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 7 日 (2007.5.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】通信装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 メッセージを送受信することでハンドシェイク手順を実行する通信装置において、通信チャネル確立後にハンドシェイク手順で定められた第 1 のメッセージを送信し、その後受信が予定されるメッセージを正しく受信できなかったと判断した場合には、最終正常受信メッセージが存在しない旨を含む再送信要求メッセージを送信し、一方、通信チャネル確立後にハンドシェイク手順で定められた第 1 のメッセージを受信し、この第 1 のメッセージを受信した後に第 2 のメッセージを送信し、その後最終正常受信メッセージが存在しない旨を含む再送信要求メッセージを受信した場合には、第 2 のメッセージを再度送信する制御手段を具備する通信装置。

【請求項 2】 前記第 1、2 のメッセージは、各々、ITU-T 勧告 G.994.1 で規定された CLR メッセージ、CL メッセージである請求項 1 記載の通信装置。

【請求項 3】 前記第 1、2 のメッセージは、各々、ITU-T 勧告 G.994.1 で規定された MS メッセージ、ACK メッセージである請求項 1 記載の通信装置。

【請求項 4】 メッセージを送受信することでハンドシェイク手順を実行する通信装置において、通信チャネル確立後にハンドシェイク手順で定められた第 1 のメッセージを送信し、その後受信が予定されるメッセージを正しく受信できなかったと判断した場合には、最終正常受信メッセージが存在しない旨を含む再送信要求メッセージを送信し、一方、通信チャネル確立後にハンドシェイク手順で定められた第 1 のメッセージを正しく受信できなかったと判断した場合には、最終正常受信メッセージが存在しない旨を含む再送信要求メッセージを送信し、この再送信要求メッセージを送信した後に最終正常受信メッセージが存在しない旨を含む再送信要求メッセージを受信したならば通信を終了させる第 2 のメッセージを送信する制御手段を具備する通信装置。

【請求項 5】 前記第 1、2 のメッセージは、各々、ITU-T 勧告 G.994.1

で規定された C L R メッセージ、N A K - C D メッセージである請求項 4 記載の通信装置。

【請求項 6】 メッセージを送受信することでハンドシェイク手順を実行する通信装置において、通信チャネル確立後にハンドシェイク手順で定められた第 1 のメッセージを送信し、その後受信が予定されるメッセージを正しく受信できなかったと判断した場合には、最終正常受信メッセージが存在しない旨を含む再送信要求メッセージを送信し、この再送信要求メッセージを送信した後に第 1 のメッセージが最終正常受信メッセージである旨を含む再送信要求メッセージを受信したならば、最終正常受信メッセージが存在しない旨を含む再送信要求メッセージを送信し、一方、通信チャネル確立後にハンドシェイク手順で定められた第 1 のメッセージを受信し、この第 1 のメッセージを受信した後に第 2 のメッセージを送信し、その後受信が予定されるメッセージを正しく受信できなかったと判断した場合には、第 1 のメッセージが最終正常受信メッセージである旨を含む再送信要求メッセージを送信し、この再送信要求メッセージを送信した後に最終正常受信メッセージが存在しない旨を含む再送信要求メッセージを受信したならば、第 2 のメッセージを再度送信する制御手段を具備する通信装置。

【請求項 7】 前記第 1、2 のメッセージは、各々、I T U - T 勧告 G . 9 9 4 . 1 で規定された C L R メッセージ、C L メッセージである請求項 6 記載の通信装置。

【請求項 8】 前記第 1、2 のメッセージは、各々、I T U - T 勧告 G . 9 9 4 . 1 で規定された M S メッセージ、A C K メッセージである請求項 6 記載の通信装置。

【請求項 9】 メッセージを送受信することでハンドシェイク手順を実行する通信装置において、通信チャネル確立後にハンドシェイク手順で定められた第 1 のメッセージを送信し、その後受信が予定されるメッセージを正しく受信できなかったと判断した場合には、最終正常受信メッセージが存在しない旨を含む再送信要求メッセージを送信し、その後再び受信が予定されるメッセージを正しく受信できなかったと判断したならば、最終正常受信メッセージが存在しない旨を含む再送信要求メッセージを送信し、一方、通信チャネル確立後にハンドシェイク手順で定められた第 1 のメッセージを受信し、この第 1 のメッセージを受信した後に第 2 のメッセージを送信し、その後受信が予定されるメッセージを正しく受信できなかったと判断した場合には、第 1 のメッセージが最終正常受信メッセージである旨を含む再送信要求メッセージを送信し、この再送信要求メッセージを送信した後に最終正常受信メッセージが存在しない旨を含む再送信要求メッセージを受信したならば、第 2 のメッセージを再度送信する制御手段を具備する通信装置。

【請求項 10】 前記第 1、2 のメッセージは、各々、I T U - T 勧告 G . 9 9 4 . 1 で規定された C L R メッセージ、C L メッセージである請求項 9 記載の通信装置。